



皆野中だより 5月号



令和8年5月1日発行 第2号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076

【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】人間力で自立する生徒の育成

【目指す学校像】ウエルビーイングを実現する学校

生徒数 1年69名 2年61名 3年75名 合計205名

笑顔がもたらすもの

校長 板倉邦弘

4月8日に始まった今年度も、あっという間に一ヶ月が過ぎました。4月に行われた様々なオリエンテーション的な行事、保健関係の測定・検診等、そして学級開き、授業開き、生徒会活動・部活動も新体制となり、学校全体が動き出しました。保護者の皆様には4月28日（火）の授業参観・スマホ安全見守り講座・学年懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。

さて、月に一度発行のこの学校だよりでは、校長が何か一つテーマを決めて、生徒・保護者・地域の皆様に語りかける機会とさせていただいています。文字ばかりですが、ぜひご一読ください。今回のテーマは「笑顔がもたらすもの」です。

4月7日（火）皆野寄居有料道路料金所にて、春の全国交通安全運動に合わせて、交通安全お守り配布を本校生徒会本部の生徒が行いました。これは12年に渡り県立皆野高校の生徒が行ってきたお守り作りと配布の活動を皆野中学校が引き継いだものです。3月24日に3年生（当時2年生76人）が県道路公社職員のご指導の下で150個のお守りを作り、生徒を代表して生徒会本部の生徒が配布を担当したということです。当日は道路公社職員の方々の他、秩父警察署、寄居警察署の職員の方々の支援もありましたが、仕事等で急いでいるドライバーも多い中、機嫌を損ねずに配布できるのだろうかと不安もありました。

ところが始まってみると、警察官に停止を求められ、怪訝そうな表情で窓を開けたドライバーの方々が、「私たちが作ったお守りです。安全運転をお願いします。」と生徒が差し出したお守りを満面の笑みを浮かべて受け取ってくださいました。中には「中学生が頑張っているから嬉しくなった」と言ってお褒めの品（ボールペン100本！）をくださった方も。予定していた1時間よりもだいぶ早く配布を完了し、警察署の方からお礼のお話をいただきました。

「私たち警察官が相手だと、停止させられたことに怒ったり文句を言ったりして、受け取ってもらえないこともあるのですが、今日はどのドライバーさんも笑顔で受け取ってくれました。笑顔で危険運転をする人はまずいません。だから皆さんの活動が安全運転と交通安全につながり、誰かの命を救うことになったかも知れません。」

私も自動車を運転する者の一人として、確かに笑顔になるようなことがあった時には、運転も穏やかになるという実感があります。また、不機嫌な表情の人よりも笑顔の人の方が一緒にいて楽しくなるものです。朝会って笑顔で「おはようございます」と挨拶を交わせば一日が楽しくなります。「笑顔」は喜びや幸せをもたらしてくれる。そんなことを実感した一日となりました。普段の学校生活の中でも、笑顔があふれる皆野中学校になるように、私たち教職員も「笑顔」を大切にしていきたいと思います。保護者の皆様も「笑顔」でお子様を学校に送り出していただけるとありがたいです。